

1. 授業の概要(ねらい)

生涯学習社会では、自らが自らの力で学びの場を構成できる人が必要とされています。この授業は、生涯学習社会で注目を集めている成人の学びについて学ぶ授業です。教科書を使つての講義となりますが、グループワークも取り入れ、参加者の主体性を重視します。最終課題では、自分たちなら何ができるかを考え、グループ単位で提案を発表してもらいます。受講者は20名まで、履修にあたっては第1回目でガイダンスに参加することを必須とします。履修者が定員を越えた場合は抽選を行います。

2. 授業の到達目標

- ①学生は、成人の発達における生涯学習の意義について理解できます。
- ②学生は、成人学習の実践事例について説明できます。
- ③学生は、生涯学習の新たな動向と課題について把握した上で、新しい学習環境の提案ができます。

3. 成績評価の方法および基準

- ①中間課題 50%
- ②最終課題(プレゼンテーション) 50%

4. 教科書・参考文献

教科書

立田 慶裕 『生涯学習の新たな動向と課題』 放送大学教育振興会

5. 準備学習の内容

次回の授業のために文献を読むことや調べ物をするといった課題が出ます。
授業後半には、最終課題に向けた準備を、授業時間外に行う必要が出てきます。

6. その他履修上の注意事項

予備知識を必要とするものではありません。皆さんの主体的な参与を期待しています。個人での課題の他に、グループワークを導入します。学校教育に関わりたい人も、そうでない進路の人も、これから成人に移行していく「大学生」という時期、自分の今までの学びやこれからの学びについて考えてみませんか。関連科目としては、実践的な『教育学Ⅰ』『教育学Ⅱ』があります。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス
授業の進め方、科目の概要紹介
- 【第2回】 講義
知識基盤社会と学習組織論・21世紀を生きる力
- 【第3回】 講義
リテラシーの高度化
- 【第4回】 演習
物語的思考
- 【第5回】 演習
科学的思考
- 【第6回】 演習
テクノロジーの学習
- 【第7回】 演習
身体知の学習
- 【第8回】 演習
人間関係の力とソーシャル・キャピタル
- 【第9回】 演習
生涯学習と社会的課題の解決
- 【第10回】 演習
家庭の教育と読書
- 【第11回】 演習
変化する仕事の学習
- 【第12回】 演習
市民参加とボランティア
- 【第13回】 演習
ネットワーク社会の学習
- 【第14回】 演習
高度化する知識と学習環境の形成
- 【第15回】 最終課題:イノベティブな学習環境の創出